



日本医療検査科学会第58回大会
ランチョンセミナー 22

臨床検査 × 薬物動態解析が拓く次世代TDM — 質量分析による治療最適化の最前線 —

日時 2026年10月10日(土) 12:00 ~ 12:50

会場 第8会場 (神戸国際会議場)

座長 慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学

教授 松下 弘道 先生

演者 鹿児島大学病院 薬剤部

教授・薬剤部長 寺園 英之 先生

ランチョン整理券予約
おススメです



2026年9月1日(火) 10時
~ 9月15日(火) 17時

講演内容

治療薬物モニタリング (TDM) は、抗菌薬・抗てんかん薬・免疫抑制薬など薬物血中濃度の個体差が大きい薬剤において、有効性と安全性を両立させるうえで不可欠な臨床ツールである。近年、液体クロマトグラフィー質量分析法 (LC-MS/MS) の臨床検査への導入が加速し、従来の免疫測定法では識別困難であった代謝物の同時定量や微量試料への対応が現実となりつつある。本講演では、薬剤部が実践するTDMの具体例を紹介するとともに、薬剤師がLC-MS/MS測定結果をいかに解釈し、母集団薬物動態 (PPK) モデルによる個別推定値として医師へフィードバックしているかを具体的事例でお示しいただく。

お問合せ

(株) 島津製作所メドテック営業部 未来医療連携推進室 ダイアグノスティクスプロモーショングループ
〒604-8511 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL:075-823-1791

共催：日本医療検査科学会第58回大会

島津製作所は



に出展しています。どうぞお立ち寄りください。

神戸国際展示場
3号館

D-2

